

【尻無川河川広場】



社会実験事業報告及びスケジュール

平成28年1月15日
大阪市大正区

1. 大正区の現状とこれまでの経過

■人口減少が進み、都市活動衰退の危機

人 口

平成2年: 81, 269人



平成27年: 65, 794人

商品販売額

平成9年: 2, 816億円



平成19年: 2, 035億円

歯止めをかけるため . . .

水辺空間を活かした恒常的な賑わい創出

- ・貴重な地域資源である尻無川河川広場の活用
- ・大型集客施設が立地、1年を通して多くの人の流れ

水都大阪の南側の賑わい拠点

- ・中之島エリアとの連携、回遊性の向上
- ・“大正区らしさ” “秘密基地感”

平成27年2月 指定
都市・地域再生等利用区域

<拠点開業へのステップ>

(STEP 1)

社会実験事業
「Taishoリバービレッジ」



(STEP 2)

「尻無川河川広場周辺エリア
活性化プラン」策定



(STEP 3)

民間事業者募集・決定
拠点整備

2. 社会実験事業「Taishoリバービレッジ」の趣旨と概要

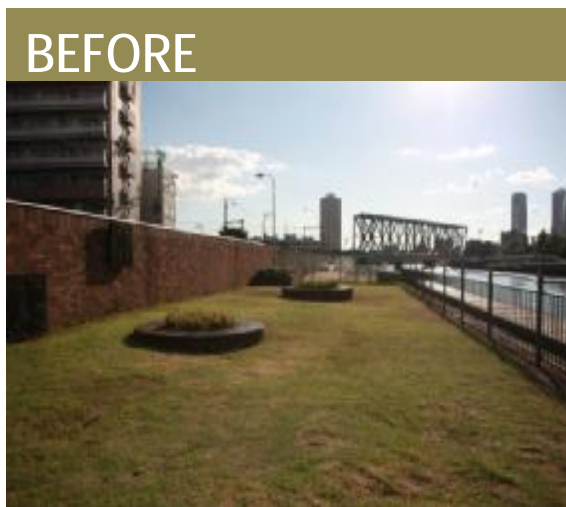
1. 河川広場のポテンシャルの“見える化”
2. 周辺エリアの動向調査、マーケティング
3. 舟運事業の可能性調査

～概要～

1. 開催期間 平成27年6月6日(土曜日)～平成27年10月18日(日曜日) (135日)
(うち第1期)平成27年6月6日(土曜日)～平成27年7月7日(火曜日)
(うち第2期)平成27年7月8日(水曜日)～平成27年10月18日(日曜日)
2. 開催時間 午前11時～午後11時(期間中無休)
※8月以降は午後5時～午後11時に変更
3. コンセプト 川と海のまち・大正区に忽然と現れた南国リゾートムードの秘密基地
4. 内 容 ①BBQレストラン&屋台グルメ
②水辺のアクティビティ(クルージング、SUP)
③インフォメーションブース&コミュニティサイクル
④その他パフォーマンス(スペシャルライブなど)

3. 社会実験事業の成果

川と海のまち・大正区に「駅前BBQ&クルージング・パーク」誕生！



	BBQレストラン	クルージング	屋台エリア	計
第1期 (6/6~7/7) 32日間	延べ5,707人	262人	延べ12,608人	延べ18,577人
第2期 (7/8~10/18) 103日間	延べ1,963人	0人	延べ3,916人	延べ5,879人
通期合計 (6/6~10/18) 135日間	延べ7,670人	262人	延べ16,524人	延べ24,456人

4. 社会実験事業から見てきた可能性と課題

～可能性～

1. 立地条件及び水上コンテンツと陸上施設等の連動による集客力
2. 夕方～夜にターゲットを絞ったナイトカルチャー
3. 他のエリア・拠点にない雰囲気(秘密基地感)
4. 多様なモビリティ(既存交通+船・自転車等)が選択できる環境



～課題～

1. 地域住民や事業者が継続的に関わる仕組みづくり(地域の支持が運営を安定)
2. クルーズは魅力的だが、単独では事業採算性が悪い
3. 開放感と雨天でも快適な空間との兼ね合い
4. フェンス・船着場・トイレ等最低限のインフラ整備



5-1. 今後の展開

事業名：(仮称)大正区尻無川河川広場「にぎわい創造拠点」整備・管理運営事業

● 主なスケジュール(予定)

	平成28年度												平成29年度						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
係留施設 設計及び工事 (大正区)	設計期間				工事発注準備期間						工事期間								
事業者選定 (公募)	募集要項作成		事業者募集・選定期間				提案内容反映												
	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業説明会&現地見学会 ● プロポーザル応募登録申込締切 ● 企画提案書類提出期限 				<ul style="list-style-type: none"> ● 1次審査(書類審査)結果公表 ☆ 2次審査(プレゼン)結果公表 ● 優先交渉権者決定 														
					設計内容等の条件提示														
					関係機関との調整														
					申請・許可														
提案内容確定																			
占用協議																			
事業施設 設計及び工事 (民間事業者)													<ul style="list-style-type: none"> ● 使用契約締結(H29.3) 設計・工事(各機関との調整等含む) H29.7月オープン予定						

5-2. 今後の展開

●にぎわい創造拠点(尻無川河川広場)整備イメージ



①秘密基地感、ニューカルチャーテイスト

- オリジナリティの打ち出し(他拠点との差別化)
- 大正区の歴史文化や既存資源を活かした異文化性・多様性・混在感
- ニューカルチャー、新業態などのターゲットが絞りこまれた独自コンテンツの展開



大正区の時つ異文化性(大阪-沖縄・港湾-下町)や、区内個店が持つニューカルチャーの育成、区のイメージを再構築していくことで、ここにしかない暮らしが実現し、選ばれる街として生まれ変わる。

②水辺拠点ネットワークのハブ

- 水の回廊の水辺拠点(17拠点)との連動(特に中之島GATE、道頓堀との連動)、その中でも他にないオリジナリティのPR
- 瀬戸内海からのアクセスに対応(大型船進入が可能な下流部(大正内港等)との連携)



大型クルーザーでの都心部拠点へのアクセスニーズを受け止めつつ、川を通行できる背の低い船に乗り換えられる、海と都心部の結節点としての役割を果たす。水陸セットで運営され、水の回廊のネットワークのハブとなる。

③大正区全体のマーケティングポイント

- 区のインフォメーション機能と、回遊性を高めるアクセス拠点化や情報集積、発信拠点
- 内陸の資源との連動、誘引
- 顧客獲得、区内開業への流れ
- 既存ストックのリノベーション事業とのタイアップ



区の玄関口として案内機能整備やレンタサイクル等によるアクセス性の向上を行い、南部で進むリノベーション事業や既存カルチャーと連携し区をPRするとともに、スモールビジネスを支援する。